

まきどき・植えどき・収穫どき
どきどき情報

3月

野菜の作業

種まき・植え付け	栽培管理のポイント
<p>播種</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホウレンソウ ・コマツナ ・ブロッコリー ・シュンギク ・チンゲンサイ ・ニラ(株分けも) ・サヤエンドウ ・パセリ ・セルリー ・キャベツ、レタス ・ニンジン ・露地用果菜類、シソ等 <p>植え付け</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バレイショ ・ウド、ミョウガ 	<p>ハウスの温度管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・育苗中の温度管理 <p>3月に入ると一日の温度変化が大きくなります。天気の良い日などは、朝はとても寒いと思っても日中は思った以上に温度が上昇し、思わぬ事態を招くことがあります。温度計で温度確認をするとともに、パイプハウスなどでは、中に入って確かめることも必要です。換気などの管理をこまめに行い、温度が上がりに過ぎないように注意しましょう。また、日光に十分に当てることも大切となりますし、灌水も乾きすぎないように注意し、行う場合は、朝方行い夕方には床土表面が乾く程度に行います。</p> <p>追肥</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タマネギ <p>3月から生育が回復し、肥料の吸収量が多くなってきます。追肥は3月上旬と中下旬の2回に分け1a当り野菜用の追肥肥料を4kg程度施用します。遅い追肥は貯蔵中の腐敗を増加させるので、3月中に終らせます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ニンニク <p>茎葉の生育が旺盛となる4月頃から肥料の吸収量がおおくなります。追肥は、3月下旬から4月末までに、2~3回にわけて1a当り野菜用の追肥肥料を4kg施用します。</p>



簡単な春野菜のトンネル栽培

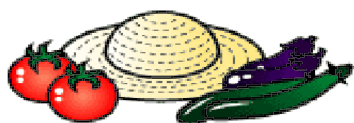
~シュンギクとコマツナなどの栽培について~

- ・凍みがとけたら1㎡当り「サンライムプラス」を200g、野菜用の化成肥料を150g散布し、土によく混ぜ、馴染ませておきます。
- ・畦幅90cmの平畦を作り、条間15cmで条まきにします。
- ・小トンネルを作り、150cm幅のビニールを掛け保温をします。5月頃から収穫ができるようになります。



管理機などの点検はお済ですか

いよいよ農作業の始まる季節となりました。農業機械は、回転部分への注油、ベルトの張り、ボルトの緩みがないかなど点検し、適期作業や安全な作業ができるよう十分点検し、けがのないシーズンとなるよう準備をお願いします。



農業豆知識

「新しい品目・作型に挑戦!!」

ヤマゴボウ(検討品目として)

ヤマゴボウは、キク科のアザミの一種で、山野に自生しているモリアザミを栽培用として改良したもので、独特な風味と歯切れの良さを持ち、中山間地域の特産的な野菜として栽培されています。

栽培面では、省力的な作目で収穫と選別に半分以上の労力がかかりますが、秋から初冬にかけての作業となりますので労力の分散という面では検討してもよいのではないのでしょうか。

は種は、標高700m前後の地域では6月下旬～7月上旬が適期となります。

は種量は、条まきでa当たり0.35～0.40で、多すぎると細もの、くずものが多く、少なすぎると太くなりすぎてしまう場合があります。条まきの場合は、うね幅60cmで、中央にまき幅20cmをとり、土壌が乾燥すると発芽率が落ちてしまうので、まき床はローラーなどで平らに整地してからは種し、間引きは行わないので種子が重ならないようできるだけ均一、丁寧にいき、覆土を5～6mm程度行き、ローラーで鎮圧します。

収穫は、10月に入れば可能となり11月下旬頃まで適宜収穫しますが、香りの良い、カリカリした肉質のものを得るには霜に2～3回遭ったほうが良いといわれています。

基礎コーナー（初心者コーナー）

1 肥料表示の見方（肥料の購入及び使用に当たってのポイント）



肥糧は肥料取締法により管理され、販売店で売られている肥料袋の表には写真のように「高度化成14・14・14」などの成分表示があります。これは肥料3要素の窒素、リン酸、カリの成分量を表しており、左からN(チッソ)14%、P(リンサン)14%、K(カリ)14%が含まれているという意味です。これは配合肥料や化成肥料など2つ以上の成分が含まれる時に使用されます。例えば、20kgの袋にチッソ成分が14%という2.8kgのチッソ成分が入っているという意味になります。

但し、4・0・2などと表示されている場合で下二桁を表示しているものもありますので注意が必要です。いずれにしても、この数字が大きくなる程肥料の成分量が多いこととなります。なお、肥料を購入するときに注意したいことは、この成分量と価格です。近年は肥料価格が高くなっており、単に一袋当りの値段が

安いから選ぶということではなく成分量を比較して購入したいものです。

そして実際、肥料を与えるときにはこの数字が大きいか小さいかで量を加減し、無駄な肥料を使うことのないよう注意することも大切です。

* 例えば同じ100gでも、N-P-K 8-8-8とN-P-K 16-16-16では、含まれる肥料分量は2倍違います。

（肥料袋裏面表示の例） 肥料888

2 施肥量の目安のつけ方

施肥量については、多くの場合「10a当り30kg」などと栽培基準などに記述されていますが、10aの野菜を作る場合にはチッソ成分15%の肥料ですと20kg肥料を10袋を10aの畑へ散布すればよいこととなります。

しかし、小規模で例えばキュウリ20本といった場合だとどのくらいの肥料が必要かということになります。

キュウリの栽植密度は作型にもよりますが、普通栽培では畝間3m、2条植え、株間60cmとすると10a当り1,000から1,100本程度の本数が定植されますので、大雑把に言って1本当りの栽培面積は約1㎡に換算されます。

先ほどの例をこのキュウリに当てはめると、10a当り30kgのチッソ量ということは、1本当りにすると30gのチッソ量になります。従って、チッソ成分量15%の肥料であれば200gの肥料を1㎡当りに散布すればよいこととなります。そして、200gの肥料はどの位かということになりますが、厳密には秤で計って施用すればよいのですが、肥料の種類にもよりますが、湯飲み茶碗軽く1杯分がおおむね100g程度ですので、2杯分になります。このように、肥料の成分量で換算して湯飲み茶碗などで何杯分と目安をたてるのも肥料を無駄にしない一つの方法だと思えます。

なお、注意したい点としては、堆肥や有機質肥料にも当然チッソ成分等が含まれていますので、その成分量を減量して施用することが必要となります。

生産(販売)業者保証票		窒素の含有%
肥料の名称	ヨクキク化成肥料28号	8.0
保証成分量	窒素全量	8.0
	内アンモニア性窒素	5.0
	硝酸性窒素	3.0
	りん酸全量	8.0
	*内可溶性りん酸	7.0
	内水溶性りん酸	5.0
	加里全量	8.0
	内水溶性加里	7.0
原料の種類	○、△、×	
正味重量	1kg	
生産年月	○年△月	
生産業者の氏名又は名称および住所		
生産した事業場の名称及び所在地		

窒素の形態別の含有率。アンモニア性窒素は、降雨による流出が少ないが、最終的には土の中で硝酸性窒素に変わるので、この割合はあまり気にしないでよいです。

りん酸の含有%

作物に有効なりん酸の割合。残りの8-7=1%が高くてこの値が低いと効きが悪いこととなります。

上の有効なりん酸のうち、水に溶ける部分で、すぐ効くりん酸です。残りの7-5=2%がゆっくり効くりん酸です。

加里の含有%

水に溶ける加里の%で、すぐ効く部分です。残りの8-7=1%はゆっくりと効く加里です。

原料の種類。有機質肥料の場合、ここが大事です。品質の良い油粕などの原料を使っているかどうか見えます。

*肥料によっては、ク溶性りん酸と表示されている場合もありますが、意味は可溶性と同じく作物に有効なりん酸のこと。なお、ク溶性とは2%ケエン酸に溶けるとい意味です。

あさつゆ連絡先 電話:FAX 41-1062

技術事項作成協力：上小農業改良普及センター
地域生活係 中澤普及員（25-7156）